

津軽自動車道 かしわ うきた 柏～浮田

計画段階評価
第2回 説明資料

1. 前回委員会の概要	・・・ 1
2. 第1回意見聴取の結果	・・・ 3
3. 対策方針（ルート帯案）の検討	・・・ 20
4. 今後の計画段階評価手続きの進め方	・・・ 27
5. 第2回意見聴取（案）について	・・・ 31

1. 前回委員会の概要

1. 前回委員会の概要

◆東北地方小委員会開催状況

第1回東北地方小委員会〔平成26年8月29日開催〕

◆議事内容

- ① 道路交通及び地域の現状・課題
- ② 政策目標の設定
- ③ 地域からの意見聴取方法
- ④ 今後の計画段階評価手続きの進め方

●第1回東北地方小委員会での主なご意見と対応状況

主なご意見		対応状況
【意見聴取方法について】		
意見聴取対象	・災害対応の観点から、防災関係者や地域の自主防災組織などへの意見聴取もすべきではないか。	・ヒアリング対象に自治体防災関係者と自主防災組織代表者を追加
	・通学時のスクールバス利用状況を確認の上、学校関係者への意見聴取も検討されたい。	・ヒアリング対象に小学校・中学校・高校を追加。
	・アンケートの問3-1に、「課題はない」という選択肢を追加すべきではないか。	・「問3-1 8. その他」に、「※上記1～7の問題・課題に該当しない場合も含め、回答欄の[]内にご記入下さい」を追加。
	・前後区間が高速道路で整備されてきているため、津軽道全体についての意見も聴取すべきではないか。(問5)	・問5に、「※回答欄に、対象区間以外の津軽自動車道に関するご意見も含め、ご自由にお書きください。」を追加。
【ルート検討について】		
冬期交通状況	・冬期交通に課題があり、JR五能線も冬期運休が多いということから、冬期の交通量など交通状況について整理されたい。	今後、必要に応じて対象区間の冬期交通状況を調査。 ⇒ 資料2で整理
ルート検討	・今後、対策案を検討する際に、除雪などの維持管理費用や維持管理の容易さも含め検討すべきである。	今後、比較検討をする際に考慮。

2. 第1回意見聴取の結果

2-1. 第1回意見聴取の実施内容

- ◆意見聴取は、アンケート調査及びヒアリング調査を以下のとおり実施
- ◆意見聴取期間：平成26年10月16日(木)～11月10日(月) ※約3週間半

●意見聴取実施概要

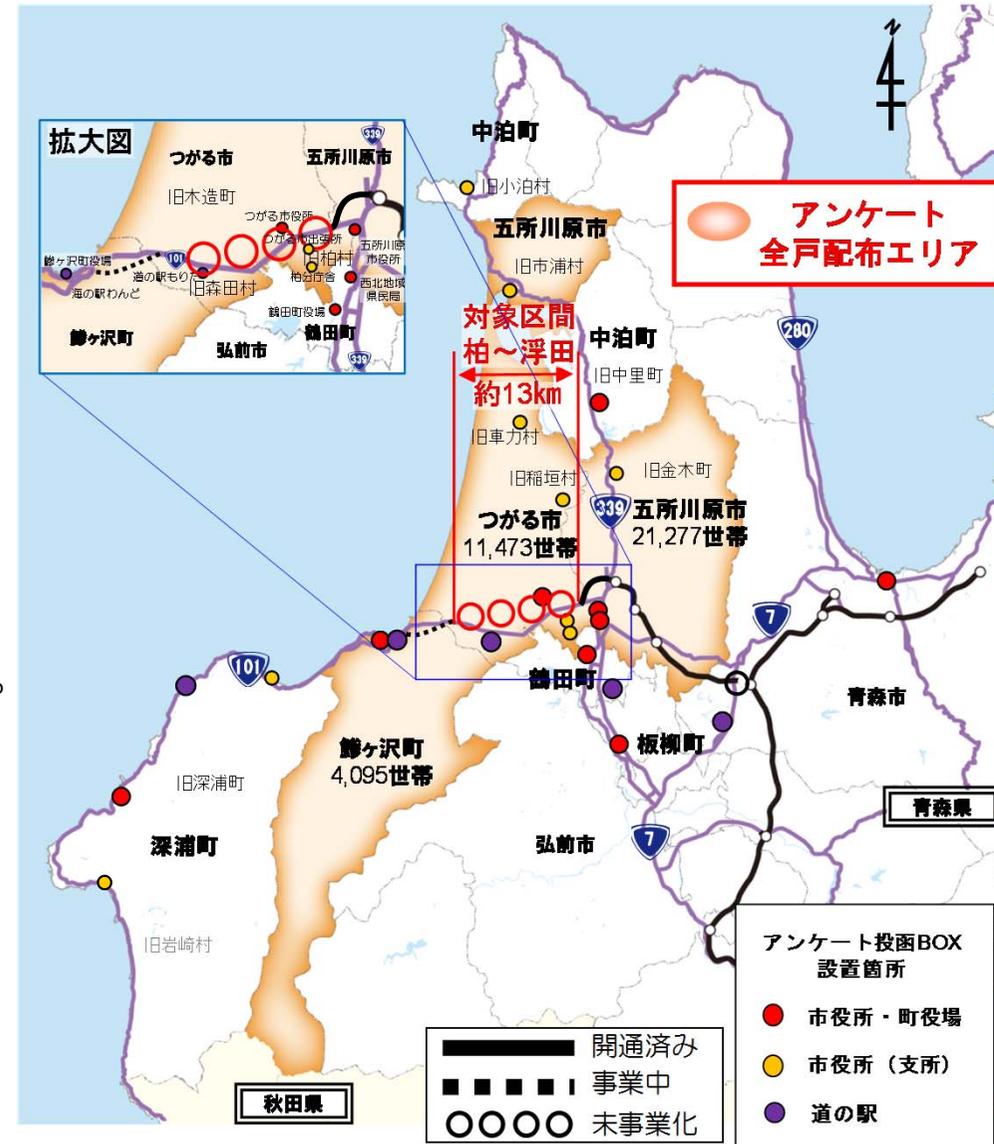
住民・道路利用者アンケート		配布数	回収数	8,801部
郵送 全戸配布	五所川原市 (21,277世帯)	24,153部	4,132部 (回収率17%)	
	つがる市 (11,473世帯)	12,045部	2,629部 (22%)	
	鱒ヶ沢町 (4,095世帯)	4,288部	920部 (21%)	
	合計 (36,845世帯) ※1	40,486部 ※2	7,681部 (19%)	
留置き	周辺市町村役場、道の駅等 (28箇所)		888部	
WEB	WEBページ開設 事務所、県、市町村HP掲載	—	232部	
企業ヒアリング		実施数		
ヒアリング	対象区間の利用が想定される企業・団体等	57社・団体		

※1 世帯数は、国勢調査(H22)
 ※2 配布数は、対象地域内に存在する全ポストへ投函したため世帯数と異なる

【企業・団体ヒアリング先の内訳】

分類	全数 (社・団体)	対象地域	
		対象地域	対象地域外
物流関係	11	10	1
観光・地域産業関係	19	16	3
教育関係	13	13	
救急医療関係	5	5	
防災関係	9	9	
合計	57	53	4

●意見聴取実施箇所図



◆地域への情報提供

- ・ 防災無線を活用し、各家庭へ意見聴取の協力依頼についてアナウンスを実施（鱈ヶ沢町）
- ・ 対象地域で開催されたイベント等でのアンケートブースの設置（つがる市・鱈ヶ沢町）
- ・ 周辺市町役場、道の駅等（全27箇所）においてポスター掲示並びにアンケート票と回収ボックスを設置
- ・ 企業や団体に訪問した際にアンケートへの協力を呼びかけ

●防災無線による協力依頼（鱈ヶ沢町）



放送実施状況



屋外スピーカー



屋内スピーカー

＜防災無線放送の実施日程＞

日程	H26.10.23～11.10(平日)
時刻	19:30の定時放送内
内容	全戸配布アンケートへの協力をお願い

●イベントでの協力依頼

＜あおもり西海岸白神の食フェスタ（鱈ヶ沢町）＞



＜つがる市総合文化祭（つがる市）＞



●アンケート回収ボックスの設置

＜留め置き＞



道の駅「もりた」

＜ポスター＞

津軽自動車道（柏ヶ浮田）の計画検討に関するアンケート（第1回）を実施しています。

アンケート実施期間
平成26年
11月10日(月)まで

アンケートにご協力をお願いします。

津軽自動車道は、東北縦貫自動車道の沿線10から瓦用川流域を通過し、日本海沿岸地域までを結ぶ計画延長約38kmの高速幹線道路です。今回のアンケート調査では、事業地周辺である「第一回」の調査対象路線にあたり、地域のみなさまや道路を利用される方が感じている道路交通や地域の課題についてご意見を伺いし、実施させていただきます。

返信用紙は各にる回答
調査用紙がご記入ください。届付中の回収ボックスまたは道の駅の郵筒に回収ボックスを投入してください。

【回収のついでにお願い】
回収ボックスは、調査対象地域内にある。回収ボックスは、調査対象地域内にある。回収ボックスは、調査対象地域内にある。

インターネットによる回答
「インターネットによる回答」は、アンケート実施期間中に、インターネット上でアンケートに回答することができます。

お問い合わせ先
青森県道東北地方整備局 青森河川国道事務所 調査第二課
〒030-0855 青森県青森市青森1-1-1
TEL:017-834-2111 FAX:017-834-2112
http://www.thr.mlit.go.jp/aomori/

●企業・団体ヒアリングでの協力依頼

＜青森県トラック協会 西北五支部＞



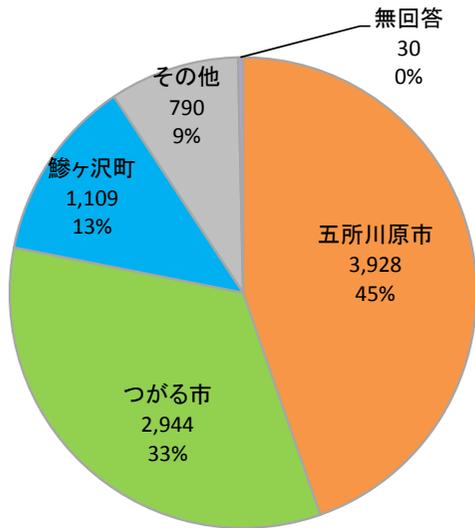
2-3. 第1回意見聴取の結果 住民アンケート

- ◆ 有効回答数は8,801票であり、居住地別では五所川原市が約4割、つがる市が約3割と多い
- ◆ 年齢は30代～70代以上まで幅広い年代からの意見を得られた
- ◆ 職業では会社員が約3割、性別では男性が約7割と多い傾向

回答者属性

回答者の属性

【居住地】



回答者数 N=8,801

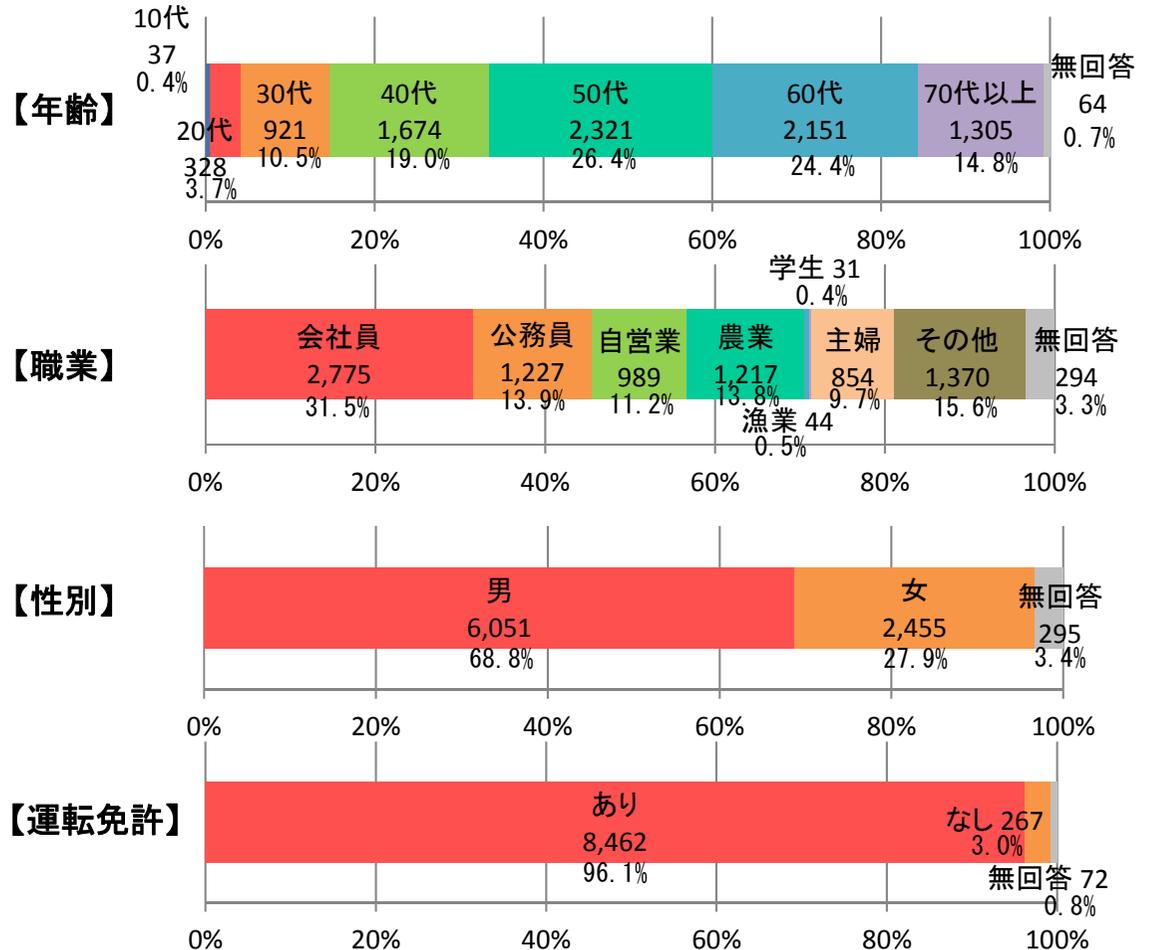
※「その他」内訳

地域	人
周辺自治体(西北地域)	473
他青森県内	299
青森県外	18

参考(再掲) : 住民アンケートの配布数と回収数

市町村名	配布数	配布割合	回収数	回収率
五所川原市	24,153部	60%	4,132部	17%
つがる市	12,045部	30%	2,629部	22%
鱒ヶ沢町	4,288部	10%	920部	21%
合計	40,486部	100%	7,681部	19%

※配布先と居住地が異なる場合がある



※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

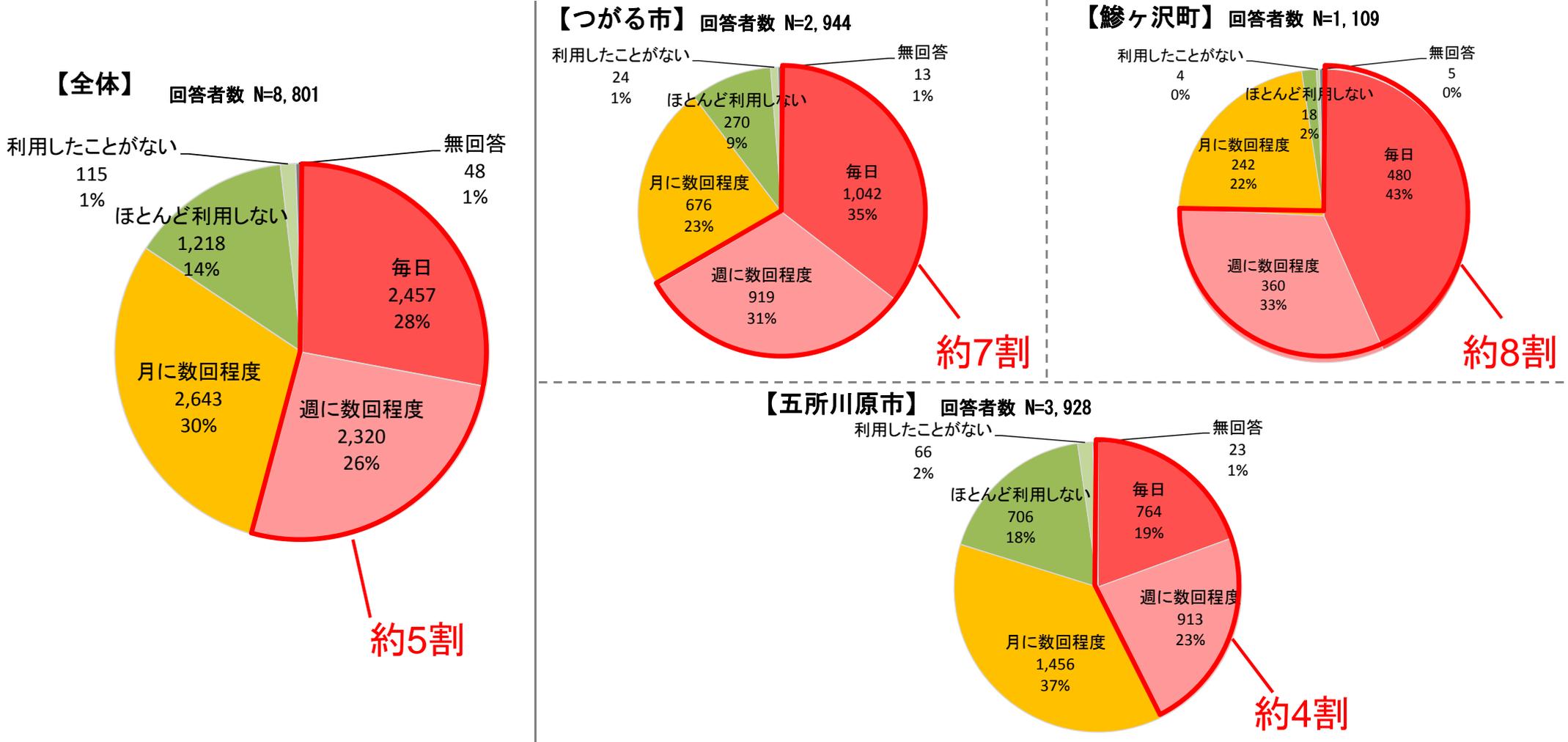
回答者数 N=8,801

2-3. 第1回意見聴取の結果 住民アンケート

- ◆利用頻度では、約5割が「毎日」「週に数回程度利用」と回答
- ◆居住地別では、つがる市・鱒ヶ沢町の約7～8割の方が「毎日」「週に数回程度利用」と回答しており、五所川原市に比べ国道101号の利用頻度が高い傾向

国道101号の利用頻度

【問1】国道101号をどのくらいの頻度で利用しますか？※1つ選ぶ



2-3. 第1回意見聴取の結果 住民アンケート

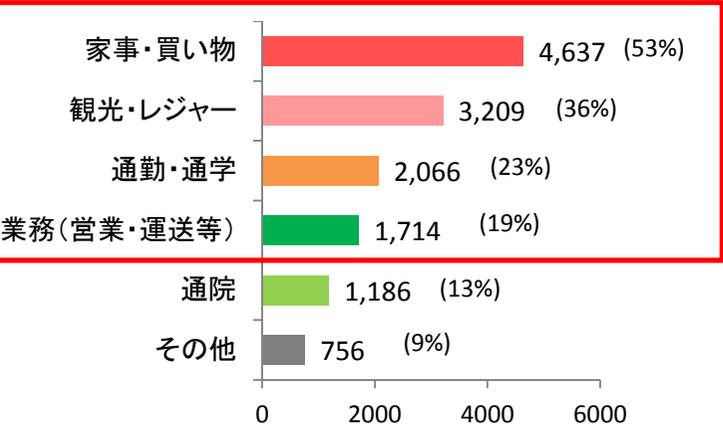
- ◆利用目的では、回答者の約5割が「家事・買物」と回答
- ◆次いで「観光・レジャー」や「通勤・通学」「業務（営業・運送等）」が多い
- ◆居住地別では、鱒ヶ沢町で「通勤・通学」や「通院」の回答が他の地域に比べ多い傾向

国道101号の利用目的

【問2】 国道101号の主な利用目的は何ですか？※複数回答可

【全体】

回答者数 N=8,801、総意見数 N=13,568



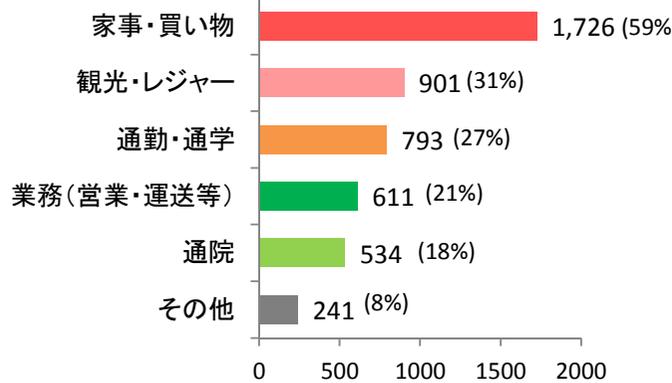
※その他の主な内容

- ・帰省
- ・親戚宅訪問
- ・送迎 等

※() は、回答者数に対する割合

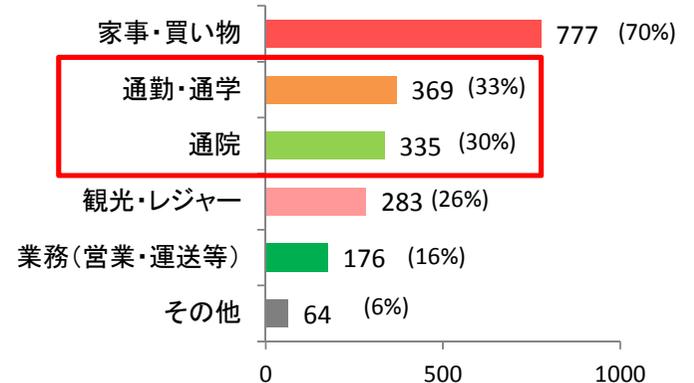
【つがる市】

回答者数 N=2,944、総意見数 N=4,806



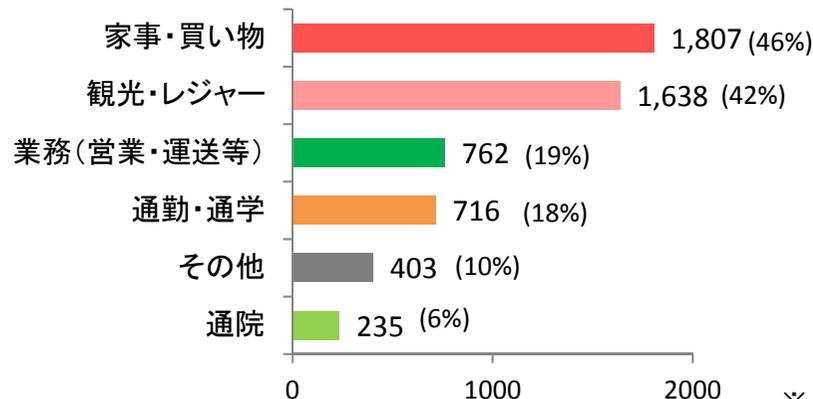
【鱒ヶ沢町】

回答者数 N=1,109、総意見数 N=2,004



【五所川原市】

回答者数 N=3,928、総意見数 N=5,561



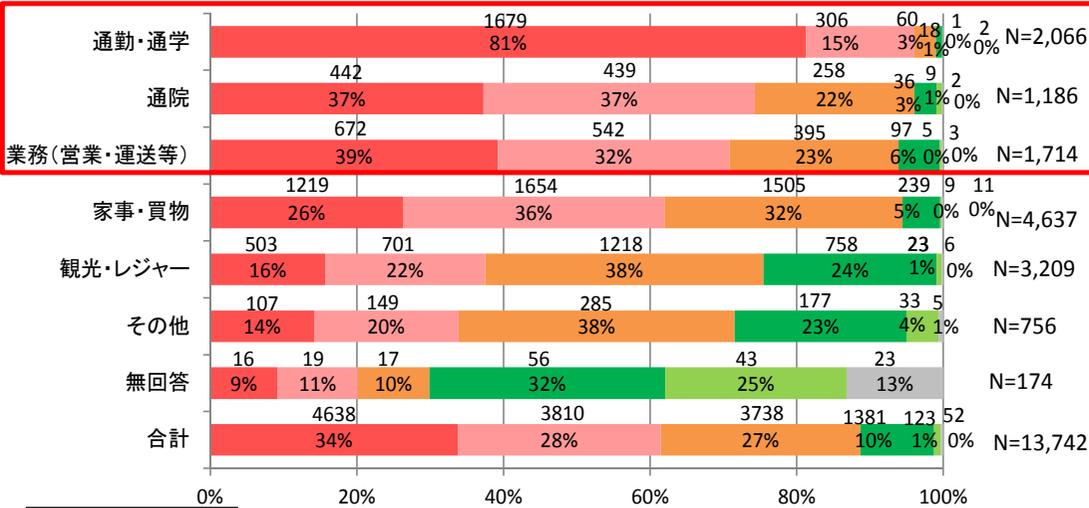
※() は、回答者数に対する割合

2-3. 第1回意見聴取の結果 住民アンケート

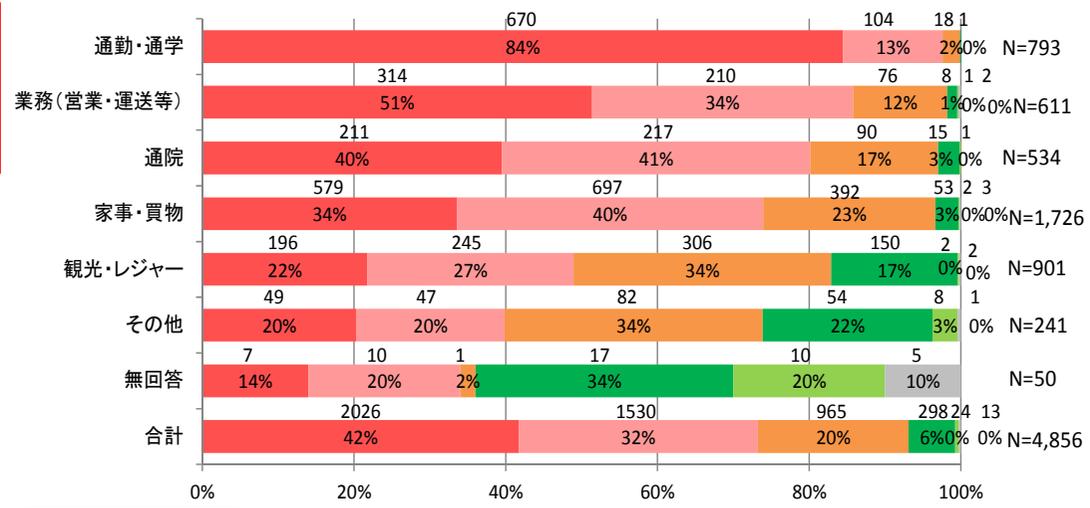
- ◆利用目的と利用頻度のクロス集計では「通勤・通学」「通院」の利用頻度が高い
- ◆「業務」についても「毎日」「週に数回程度」の利用頻度が約7割と高い

【利用目的と利用頻度のクロス集計】 ※利用目的は複数回答

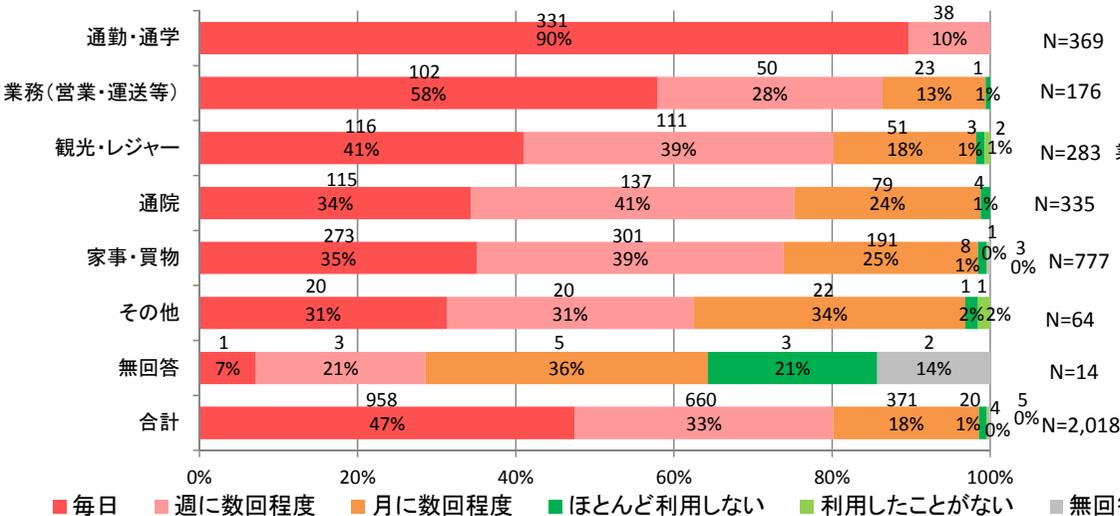
全体 回答者数 N=8,801、総意見数 N=13,742



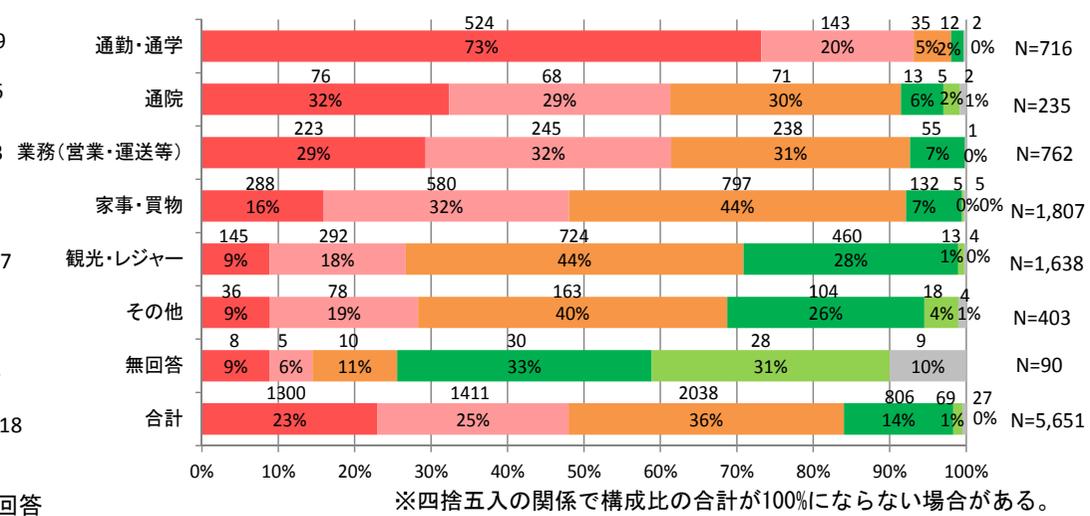
つがる市 回答者数 N=2,944、総意見数 N=4,856



鱒ヶ沢町 回答者数 N=1,109、総意見数 N=2,018



五所川原市 回答者数 N=3,928、総意見数 N=5,651



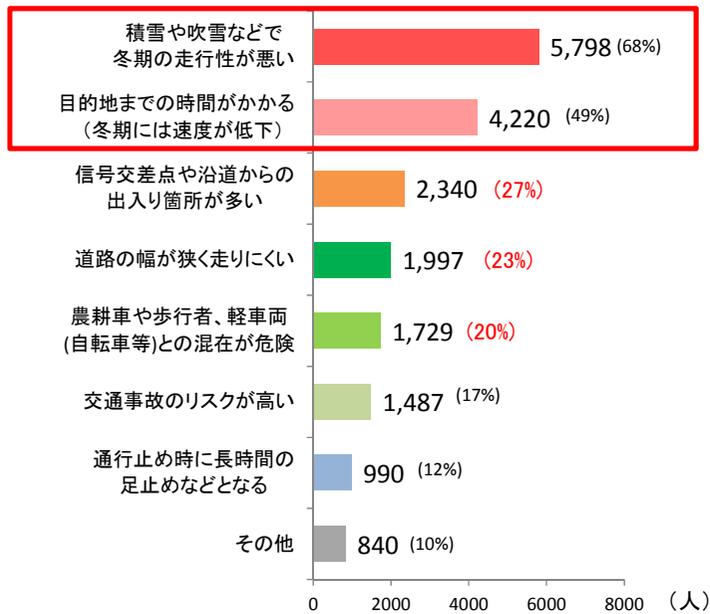
※四捨五入の関係で構成比の合計が100にならない場合がある。

- ◆現道課題では、「積雪や吹雪などで冬期の走行性が悪い」と「目的地までの時間がかかる（冬期には速度が低下）」の回答が約5～7割と多い
- ◆鱒ヶ沢町の「積雪や吹雪などで冬期の走行性が悪い」の回答は約8割で他の地域と比べて高い
- ◆交差点や沿道出入り、道路幅など走行空間に関する回答が約2～3割と比較的多い

国道101号の課題の把握

【問3-1】国道101号の柏から浮田間（対象区間）において、どのような交通問題や課題を感じていますか？※複数回答可

【全体】 回答者数 N=8,526、総意見数 N=19,401



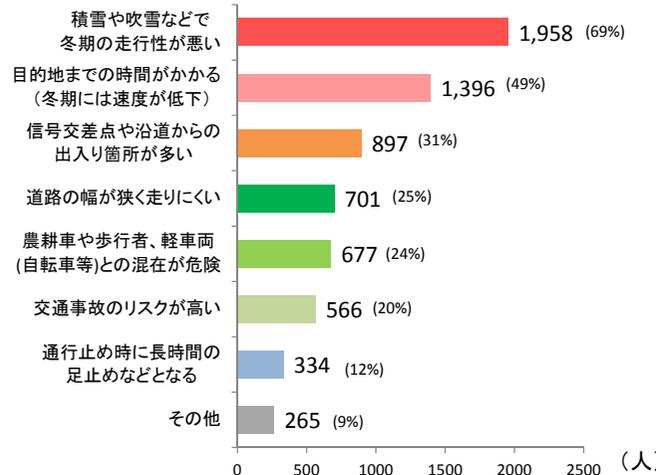
※その他の主な内容

- ・観光シーズンに渋滞が発生する
- ・迂回ルートがないこと

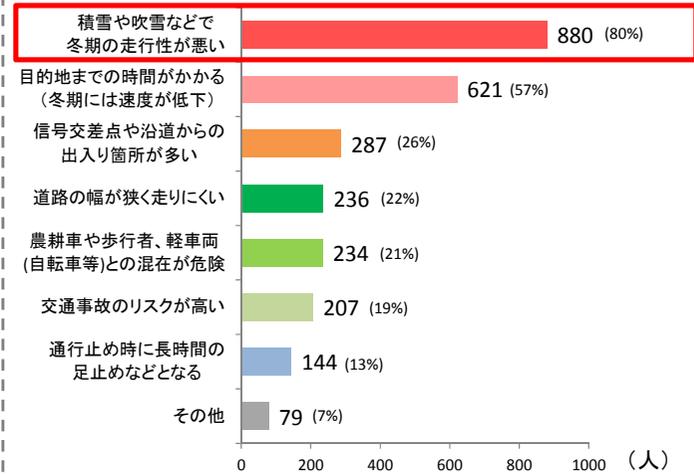
なお、「課題なし」等の回答は241件（回答者の約3%）

※（ ）は、回答者数に対する割合

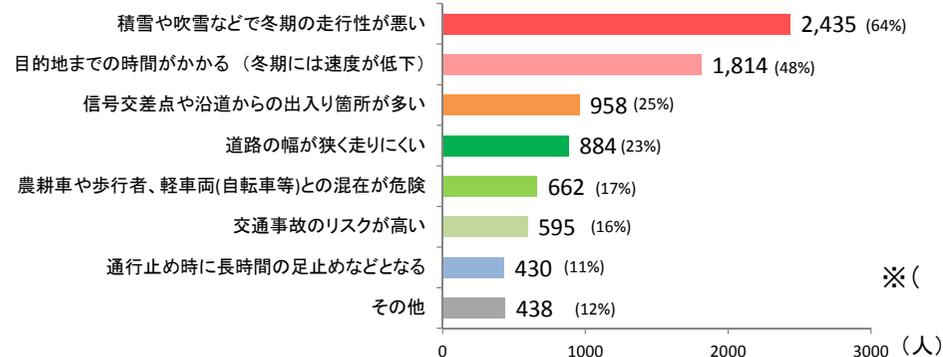
【つがる市】 回答者数 N=2,854、総意見数 N=6,794



【鱒ヶ沢町】 回答者数 N=1,094、総意見数 N=2,688



【五所川原市】 回答者数 N=3,785、総意見数 N=8,216

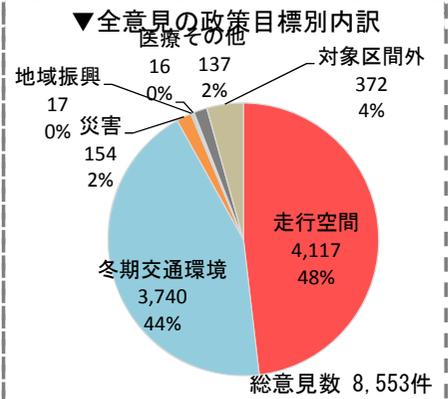
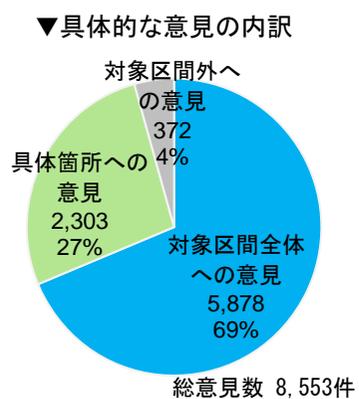
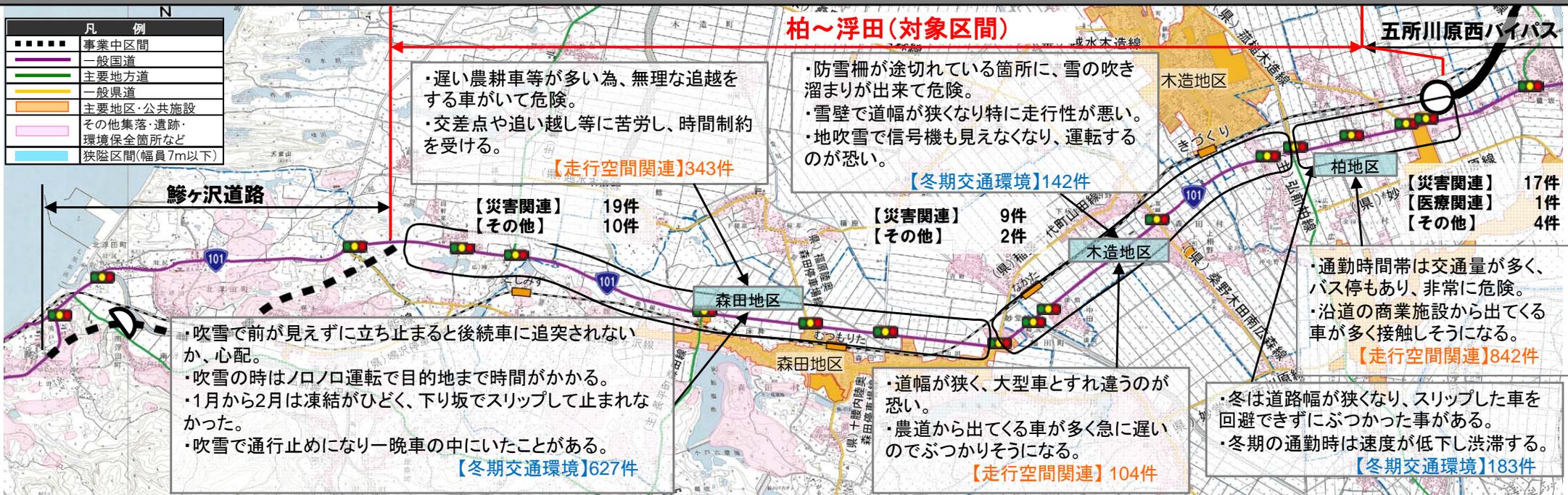


※（ ）は、回答者数に対する割合

2-3. 第1回意見聴取の結果 住民アンケート

- ◆ 実体験による具体的な現道課題として、全8,553件のご意見を頂いた
- ◆ 政策目標別では、「冬期交通環境」や「走行空間」に関して多くのご意見を頂いた
- ◆ 「冬期交通環境」や「走行空間」に関する意見は具体箇所を示した意見が多く、「医療関連」や「地域振興関連」等については区間全体への意見として寄せられた

【問3-2】「3-1」でお答え頂いた中で、場所や時期なども含め具体的な実体験を教えてください。



対象区間全体へご意見 5,878件

- ・冬期は全区間で視界不良、凍結それが原因の渋滞があり、事故の危険がとても高い。【冬期交通環境】 2,788件
- ・田畑の中を通るため、農耕車の出入りが多く、速度が遅いため追突等の事故を起こしそうなことが多々ある。【走行空間】 2,828件

- ・夏は海へ向かう車、冬はスキー場へ向かう車で混雑し目的地まで時間がかかる。【地域振興関連】 17件
- ・観光で鱒ヶ沢方面に行きたいと思うが、もっと早く行ければ行く回数も多くなると思う。【災害関連】 109件
- ・災害時に代替路がない。当該地域の冬期間の気象条件の厳しさを考慮して、災害・救急等に即対応出来る様にすべき。【医療関連】 15件

- ・冬場の出産の際に鱒ヶ沢から五所川原の病院まで1時間以上かかり辛かった。【その他意見】 121件
- ・定期的に通院していますが、つがる市で渋滞に会うとその日の予定が狂ってしまう。【医療関連】 15件

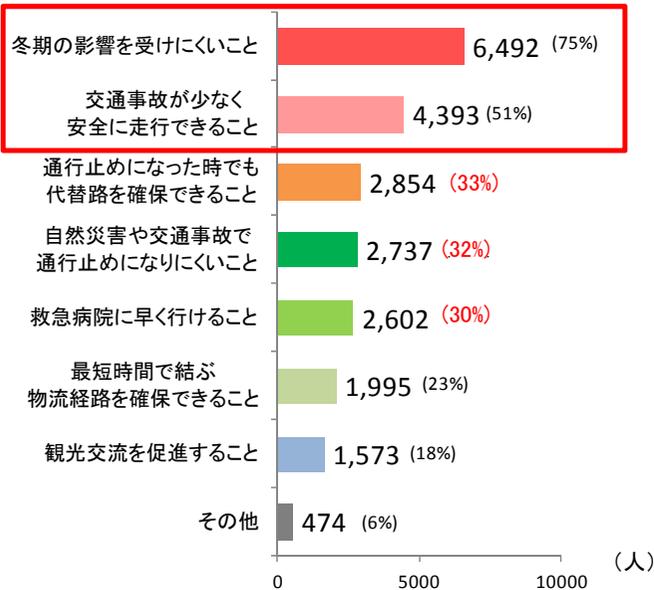
2-3. 第1回意見聴取の結果 住民アンケート

- ◆ 道路に求める機能では、「冬期の影響を受けにくいこと」が約8割と最も高い
- ◆ 次いで「交通事故が少なく安心できること」が約5割と多い
- ◆ 「通行止め時に代替路を確保できること」「病院に早く行けること」など信頼性に関する回答割合が約3割以上と比較的高い

当該地域の道路に求める機能の把握

【問4】当該地域（対象区間）には、どのような機能を持つ道路が求められますか？ ※複数回答可

【全体】回答者数 N=8,604、総意見数 N=23,120

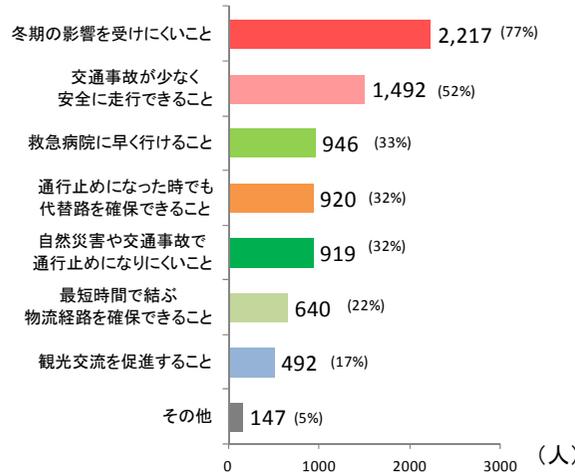


※その他の主な内容

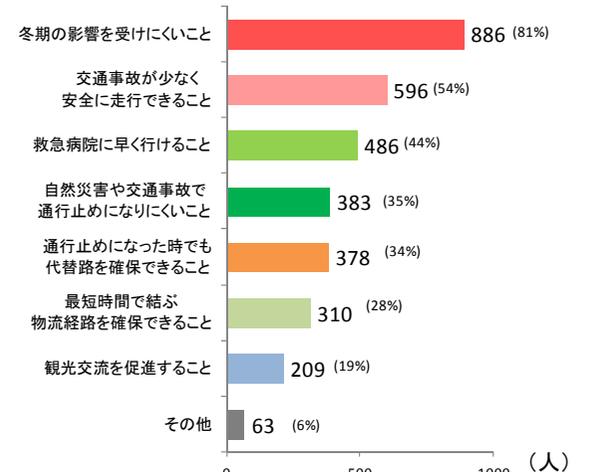
- 起伏・カーブが少ないこと
- 信号・交差点が少ないこと
- 高規格道路として接続されること 等

※() は、回答者数に対する割合

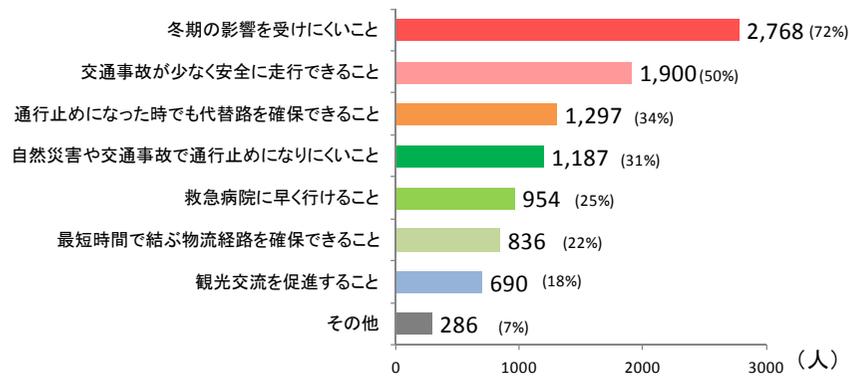
【つがる市】回答者数 N=2,879、総意見数 N=7,773



【鱒ヶ沢町】回答者数 N=1,097、総意見数 N=3,311



【五所川原市】回答者数 N=3,821、総意見数 N=9,918



※() は、回答者数に対する割合

◆ 自由意見では政策目標に関連する現道課題の具体的なご意見が多く寄せられた

【問5】これまでの質問以外に、意見がありましたらお聞かせ下さい。 ※対象区間以外の津軽自動車道に関するご意見も含め、自由にお書きください。

分類	住民アンケートによる主な自由意見の具体例
医療関連 (69件)	<ul style="list-style-type: none"> ・月数回病院に行っているが、冬に吹雪で危険な目に何度もあっているため、安全に通れる道路を作って欲しい。(鱒ヶ沢町/70代女性) ・冬でも、救急車が早く病院に着けるようにするためにも、高速道路が必要です。(弘前市/20代男性) ・家族に急病人が出た際、短時間で救急病院へ搬送できる道路が絶対に必要です。(つがる市/50代女性) ・つがる総合病院が完成したが、道路状態が悪いと助かる命も助からない。早急の完成を望みます。(鱒ヶ沢町/50代男性)
冬期交通環境 (672件)	<ul style="list-style-type: none"> ・冬期間の吹雪の時は一寸先が見えず追突の危険が多い。多くある信号機の確認も大変です。(鱒ヶ沢町/70代男性) ・猛吹雪で視界が無く1時間に数メートルしか進めなかったことがある。幅が狭くUターンもできずに前に進むしか無かったが通行止め箇所まで行くのに数時間かかった。(つがる市/50代女性) ・年に1~2度は引き返そうか、ホテルに泊まろうかと思うときがあります。冬期間の吹雪は恐ろしいです。(鱒ヶ沢町/60代女性) ・冬は積雪で道幅が狭くなり、大型車の対向車が来ると不安を感じる。(五所川原市/60代男性)
地域振興関連 (127件)	<ul style="list-style-type: none"> ・青森市から西海岸方面への観光と海産品を求めに行きたいと機会あるごとに思っているが、交通状況を考えてついたらめらってしまう。県央と西地方の人、物の交流促進のため早く整備して欲しい。(青森市/60代男性) ・他県に行って感じたが、自動車専用道路は途中区間が無い場合は不便であり、初めて行った人は道に迷いやすい。他県からの観光を考えても是非接続して欲しい。(つがる市/40代男性) ・白神山地の観光の仕事をしていて、新青森駅からと青森空港からのアクセスが悪いことについて、いつもお客様から指摘されます。免許の無い中高年女性が多く、高速バス運行が求められるので津軽自動車道の早期完成が待たれるところです。(鱒ヶ沢町/60代男性)
災害関連 (53件)	<ul style="list-style-type: none"> ・冬期に災害が発生した際、大型車両の迅速な交通が困難だったため、救援物資等の輸送に支障が生じた事がある。特に冬期の災害や大規模事故発生時に、人員や救援物資又は負傷者等を大量かつ迅速に輸送できるかどうかは死活問題となるので、大型車両が確実に通行できる状態を維持するようにして欲しい。(つがる市/20代男性) ・災害が起きた時、避難する道が多くなるのでいいと思う。(深浦町/20代女性) ・災害発生時に迂回路が無いと孤立するのではないかと想像する。もう1本道路の確保は早期に必要と思う。(五所川原市/60代女性) ・国道101号は代替道路がありませんので、災害時の避難路、復旧のための道路としても必要なのではないのでしょうか。(弘前市/60代男性)
走行空間 (261件)	<ul style="list-style-type: none"> ・特に柏~森田間は信号機が多く渋滞が多くある。(つがる市/70代以上男性) ・農繁期には農耕車や軽車両等が頻りに農道等へ出入りするため非常に危険を感じる。(五所川原市/70代男性) ・都会と違って田舎では車がないと生活できません。自動車専用道路などは、自転車や、脇道から、急に出てくる軽トラの心配がないので安心して走行できます。(鱒ヶ沢町/50代女性) ・既設の津軽道を利用しますが、時間の短縮、安定した到着時間を計ることができています。また、歩行者・軽車両・流入車両口(交差点)も少なく危険要因が減少していると思います。早期の延伸を切に願います。(五所川原市/50代男性)

※1人の回答者が複数の分類に関する記載をしている場合もあるため、各分類の回答者は重複することがある。

◆ 自由意見では道路整備の計画検討にあたり配慮が必要と思われる意見が多く寄せられた

【問5】 これまでの質問以外に、意見がありましたらお聞かせ下さい。 ※対象区間以外の津軽自動車道に関するご意見も含め、自由にお書きください。

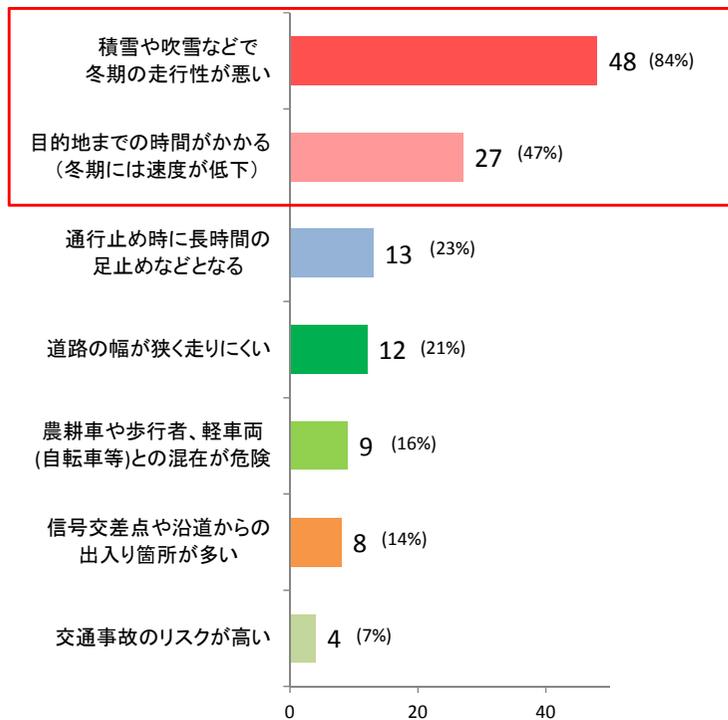
分類	住民アンケートによる主な自由意見の具体例
その他意見 (2,948件)	<p>●道路整備の計画検討にあたり配慮すべき事項</p> <p>「ルート関係」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津軽自動車道として全線バイパスで整備することにより定時性・高速性を確保でき、安全性が高まる。地域の物流、観光、医療の面からも是非全線バイパスで整備を進めてほしい。(青森市/30代男性) ・県内外、遠出する機会が年に何度かあるが、高速に乗るまでの時間、距離が長すぎる。新幹線や飛行機を利用するにしても同様。少しでも走行しやすく、時間が短くなるよう早期に進めてほしい。(鱒ヶ沢町/30代女性) ・鱒ヶ沢方面から青森市内、東北道へのアクセスが向上し地域の活性化につながるため、早期の整備を望む。(つがる市/40代男性) ・冬場でも歩行者、対向車を気にせず安全に走行できる自動車専用道路が整備されると大変ありがたいと思います。(深浦町/50代男性) ・冬期の吹雪の時でも視界を確保できる道路にして欲しい。早期に鱒ヶ沢まで繋げて欲しい。(鱒ヶ沢町/50代男性) ・交通量も極端に多いとは感じられない中でバイパスの必要性が本当にあるかは疑問です。今までの生活道路の除雪等がおろそかになるのではと心配です。(つがる市/50代女性) ・新しい自動車専用道路を建設するのであれば時間と経費が膨大となることから、国道101号にしっかりとした冬期対策を講じるべきと思う。(五所川原市/50代男性) <p>「道路構造関係」 ※インターチェンジ、休憩施設、道路幅員や構造など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠出をするときに高速道路のインターまでのアクセスが便利になれば良いと思っている。 ・青森市から鱒ヶ沢まで高速道を利用しても60km以上ある。是非休憩施設または広めの駐車帯施設の設置を希望します。(青森市/60代男性) ・片側1車線で作るのであれば、追い越し出来る所を多くしてほしい。(つがる市/50代男性) ・急なカーブ急な下り上り坂は出来るかぎり少なくしてほしい。(鱒ヶ沢町/70代男性) <p>●その他(現道管理や既開通区間へのご意見・要望など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吹雪時の視界及び渋滞を防ぐ為、高さのある雪囲いと点滅標、ポールの充実を図ってほしい。(つがる市/50代男性) ・やはり吹雪の問題が一番と感じています。路面对策や誘導対策に万全を期していただきたい。(青森市/60代男性) ・柏から浮田間は特に冬場の防雪柵は今程以上に多く取り付けて下さる様に切にお願いします。(鱒ヶ沢町/60代男性) ・除雪を頻繁に行って欲しいです。また、吹雪でも視界が悪いときでも走行しやすいようにして欲しいです。(つがる市/40代女性)

※1人の回答者が複数の分類に関する記載をしている場合もあるため、各分類の回答者は重複することがある。

- ◆57企業・団体に対して実施したヒアリングにより、国道101号の課題として124件、道路に求める機能として160件のご意見をいただいた
- ◆国道101号の課題としては、「積雪や吹雪などで冬期の走行性が悪い」が約8割、「目的地までの時間がかかる（冬期には速度が低下）」が約5割と高い
- ◆道路に求める機能としては、「冬期の影響を受けにくいこと」が約8割と最も高いほか、「最短時間で結ぶ物流経路を確保できること」が約5割と高い

国道101号の課題の把握

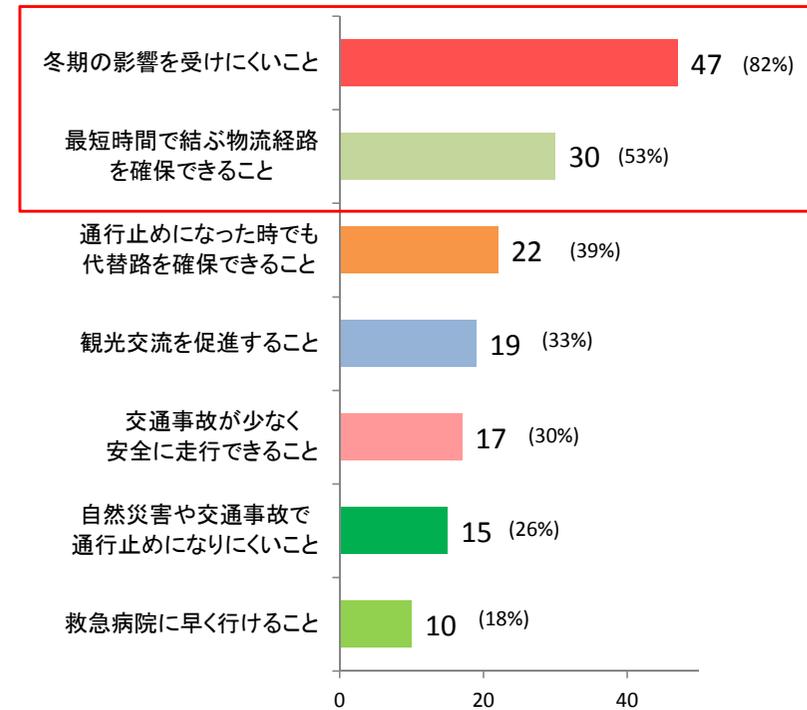
回答者数 N=57、総意見数 N=121



※ヒアリングにおける回答内容を、住民アンケートの問3-1の回答項目に当てはめて集計

道路に求める機能の把握

回答者数 N=57、総意見数 N=160



※ヒアリングにおける回答内容を、住民アンケートの問4の回答項目に当てはめて集計

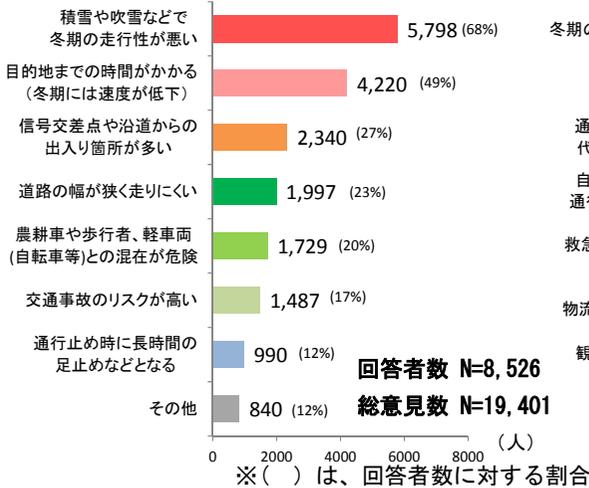
◆ 企業・団体ヒアリングでは政策目標に関連して具体的な影響（課題）の指摘や意見が寄せられた

分類	企業・団体ヒアリングからの主な意見
医療関連 (7件)	<ul style="list-style-type: none"> 冬期は吹雪による視界不良で低速走行せざるを得ず、通常期よりも現場への到着や病院への搬送に時間がかかる。 (つがる市／消防機関) 冬期は道路状況が悪く搬送時間が読めないことから、搬送先病院の選定がしにくくなる。 (鱒ヶ沢町／消防機関) 交差点や沿道出入り箇所など減速しなければならない箇所が多く、救急車内での処置が困難。一定速度で安定した状態で走行できる道路が望ましい。 (鱒ヶ沢町／消防機関)
冬期交通環境関連 (75件)	<ul style="list-style-type: none"> 冬期の吹雪発生時は視界が全くなくなるため一度停車したいが、停車すると後続車に追突される危険があるため、恐怖を感じながらもゆっくりと前に進まざるを得ない。 (五所川原市／物流企業) 冬期事故等で通行止めが発生した場合は、迂回路がないため通行止めの解除を待つしかなく業務に支障がでる。 (鱒ヶ沢町／物流企業) 冬期はJR五能線が運休することが多いため、毎日2往復、新青森駅まで送迎バスを運行しているが、冬期は出発時間を1時間程度早めている状況。冬期でも時間が短縮され定時性が確保できるような道路を整備して欲しい。 (鱒ヶ沢町／観光事業者) JR五能線を利用している生徒はJRが運休した場合、国道101号を通る代行バスでの通学となるが、特に冬期間はバスでの通学に時間がかかり授業に遅れることが多いため、確実な通学手段を確保するためにも津軽道の全線開通を望みます。 (つがる市／教育機関)
地域振興関連 (5件)	<ul style="list-style-type: none"> 観光ツアーを企画し首都圏などへ売り込みに行っているが、新幹線や空港などがある拠点都市から時間がかかりすぎるため採用してもらえない。鱒ヶ沢町までの時間が短縮されれば、売り込みのアピールになるほか、多くの観光地へ寄ってもらえる。 (鱒ヶ沢町／観光団体) 青森県は首都圏までの距離が遠いほか、所要時間が読みにくいことなど、ドライバーの負担が大きく、労働実態は大変厳しい状況である。高速道路までアクセスしやすい道路を望んでいる。 (つがる市／物流企業) 選果機械や集出荷施設等、各種拠点の集約を行いたい、施設までの輸送時間がかかることがネックとなっており、関連施設の集約が進められない状態にある。 (つがる市／農業団体)
災害関連 (11件)	<ul style="list-style-type: none"> 地震・津波など広域で被災した場合の資機材を輸送するルートは国道101号しかないため、災害時に機能するか不安に感じている。 (鱒ヶ沢町／防災機関) 大型車両が走行できるのは国道101号のみであるため、事故や災害等で通行止めが発生してしまうと物流が止まってしまい死活問題となる。 (鱒ヶ沢町／物流企業) 津波警報等が発令された場合、津波到達まで時間が短いため車に相乗りして国道101号を使って避難することを地区ルールとしている。国道101号が被災すると、避難・救援ルートを失うため、避難経路が1本しかないことに不安を感じている。 (鱒ヶ沢町／自主防災組織)
走行空間関連 (37件)	<ul style="list-style-type: none"> 柏地区では交差点や沿道施設からの出入りが多く、車が錯綜していて危険である。 (五所川原市／物流団体) 農繁期には農道からの出入り車両が多く、事故の危険性が高い。 (つがる市／消防機関) 路側帯が狭く大型車交通が多いことから自転車通行が危険であると感じている。国道を避けて通学している生徒が多い。 (つがる市／教育機関)

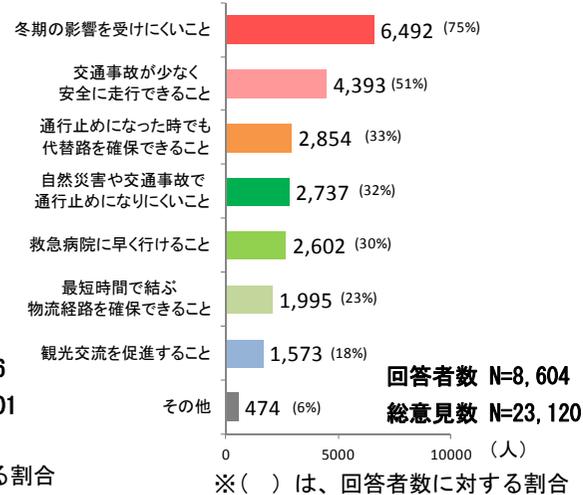
地域が感じている国道101号（柏～浮田）の課題と、道路に求める機能

【住民アンケート】

○現道課題

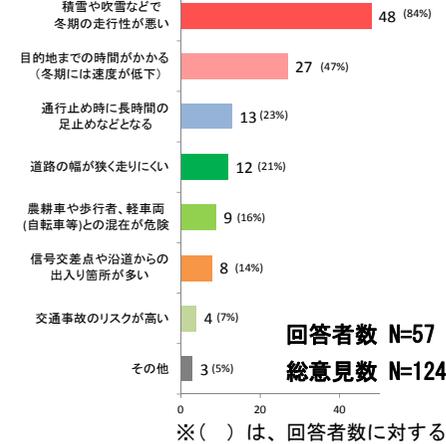


○求める機能

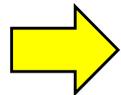
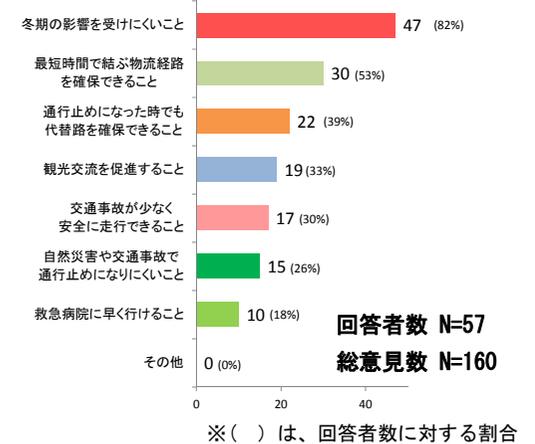


【企業・団体ヒアリング】

○現道課題



○求める機能



住民アンケート、企業・団体へのヒアリングにより、対象地域の課題が把握され、これらは第1回委員会で提示した政策目標に合致している

<政策目標>

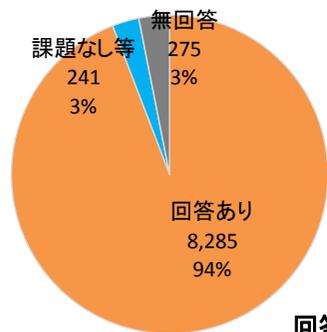
- 医療施設への速達性向上
- 冬期交通環境の改善
- 地域振興の支援
- 信頼性の高い道路ネットワークの確保
- 安全な走行空間の確保

地域が感じている現道課題への認識

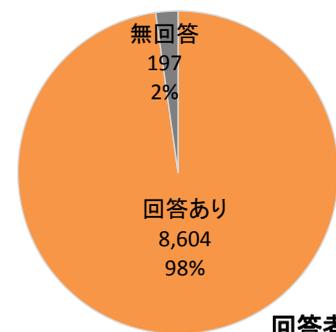
【住民アンケートの回答数】

・住民のアンケートで9割以上が課題を感じていると回答。

○現道課題



○求める機能



まとめ

○第1回委員会で提示し、ご確認頂いた現道課題や政策目標から設定したアンケート項目に対し、各項目とも選定されている。
⇒『現道課題の共有認識』ができたとともに、『政策目標の妥当性』を確認できた。

○さらに、自由意見等から道路整備の計画検討にあたり配慮すべき事項として、以下の2点が挙げられる。

- ・自動車専用道路として整備すべき（津軽自動車道のネットワーク整備）
- ・現在の国道にしっかり対策を講じる（新設道路は時間と経費が膨大となる）

政策目標を達成するための機能を有するルートを検討

3. 対策方針（ルート帯案）の検討

3-1. 対策方針（ルート帯案）の考え方

- 第1回意見聴取では、地域が感じる課題や求める機能を確認できたことから「政策目標」を確定する
- 「政策目標」を達成するための機能を有する対策案については、沿線住民の生活環境や自然環境、コストなどに配慮しながら考えられる案を設定

○当該地域の政策目標を確定

- 地域・道路の状況と課題
- 地域の将来像
- 住民や企業等への意見聴取結果

政策目標

- 医療施設への速達性向上
- 冬期交通環境の改善
- 地域振興の支援
- 信頼性の高い道路ネットワークの確保
- 安全な走行空間の確保

○対策案を検討する上での配慮事項

- 自然環境、生活環境**
 - ①家屋など生活環境の保全
 - ②自然環境の保全
- コスト**
 - ①整備に要する費用

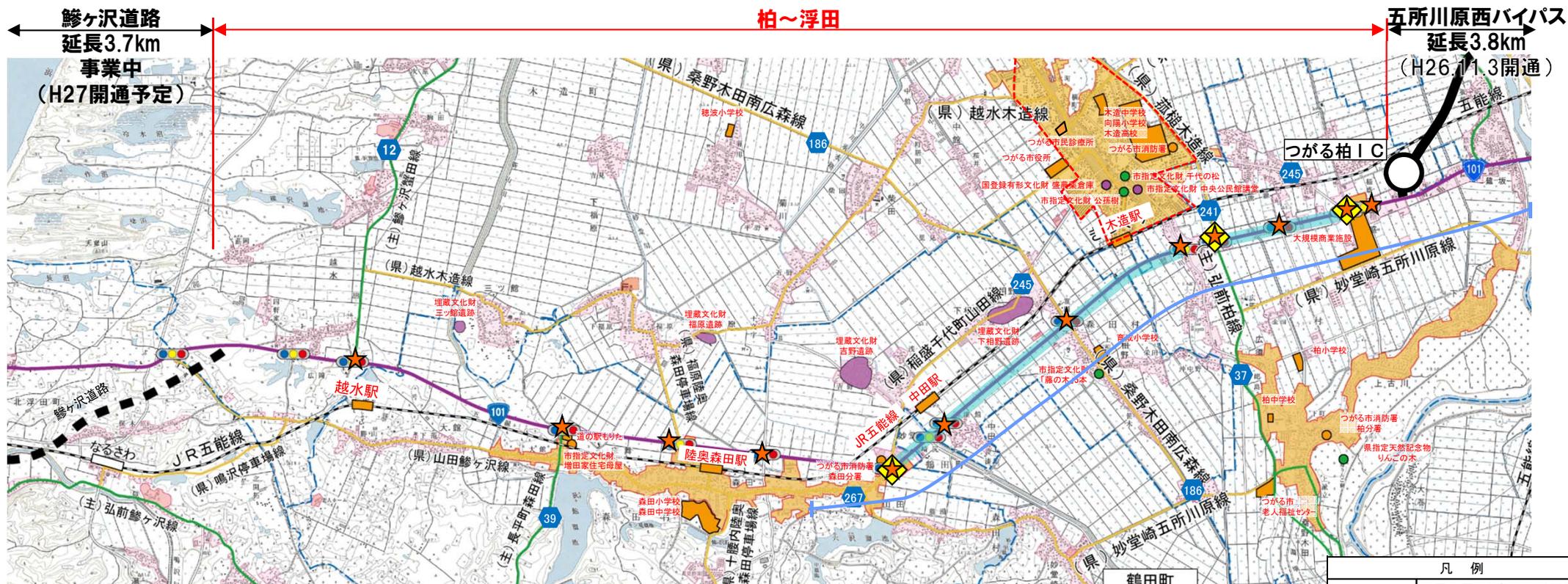
○政策目標を達成するための考えられる対策案

- 全線新設案**
 - 全線で新しく自動車専用道路を整備する案
(サービス速度80km/hの自動車専用道路)
- 新設+現道改良案**
 - 一部で新しく自動車専用道路を整備するとともに、現道を改良する案
(サービス速度80km/hの自動車専用道路+60km/hの一般道路)
- 現道改良案**
 - ほぼ全線で現道を改良する案
(サービス速度60km/hの一般道路)

3-2. コントロールポイントの考え方

◆ルート帯を検討する上での主要なコントロールポイントとして、接続道路・集落・公共施設等の主要拠点等に配慮

□コントロールポイントの位置図



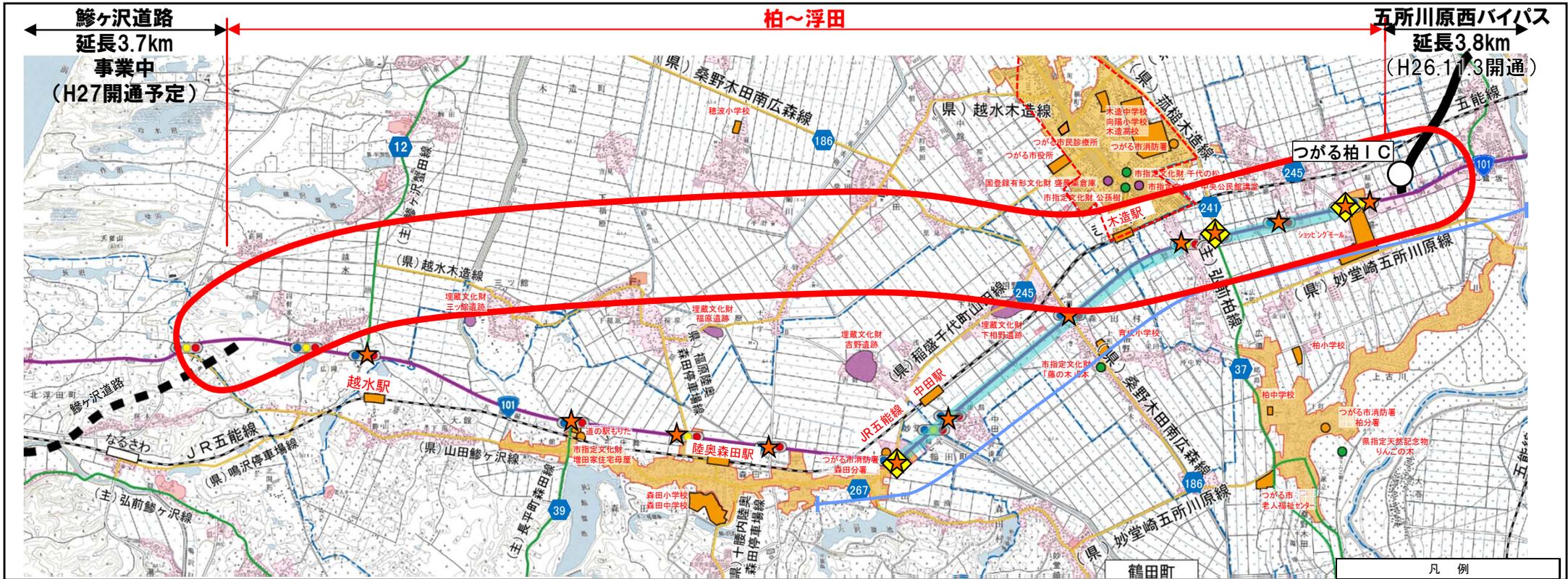
配慮すべき事項	社会的状況による要因	<ul style="list-style-type: none"> ◆起終点道路(五所川原西BP、鱒ヶ沢道路) ◆都市計画用途区域 ◆集落 ◆学校(木造高校、木造中学校、柏中学校、森田中学校、向陽小学校、柏小学校、育成小学校、森田小学校、穂波小学校) ◆公共施設(つがる市役所、つがる市消防署・柏分署・森田分署、つがる市民診療所) ◆主要拠点(道の駅もりた、大規模商業施設) ◆文化財
	自然的状況による要因	<ul style="list-style-type: none"> ◆重要な動植物 ※ルート帯確定後の詳細設計段階で生息域などに配慮する(今後、調査を実施して生息域などを把握) ◆天然記念物 ◆岩木川の氾濫による想定浸水区域

凡例

- 供用中区間【高規格道路】
- 事業中区間【高規格道路】
- 都市計画用途区域
- 集落
- 学校、公共施設、主要拠点
- 文化財
- 重要な動植物、天然記念物
- 主要渋滞箇所
- 事故の発生割合が高い箇所
- 狭隘区間(幅員7m以下)
- 岩木川の氾濫による想定浸水区域

※コントロールポイントとは、道路の利便性を考慮して通過すべき地点や、社会的影響が大きく回避すべき建物 等

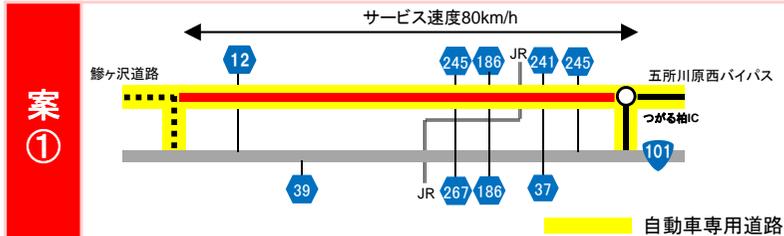
◆全線で新しく自動車専用道路を整備する案



■整備概要

延長	約12Km
構造	サービス速度80km/h (自動車専用道路)
コスト	約330~380億円

■整備イメージ



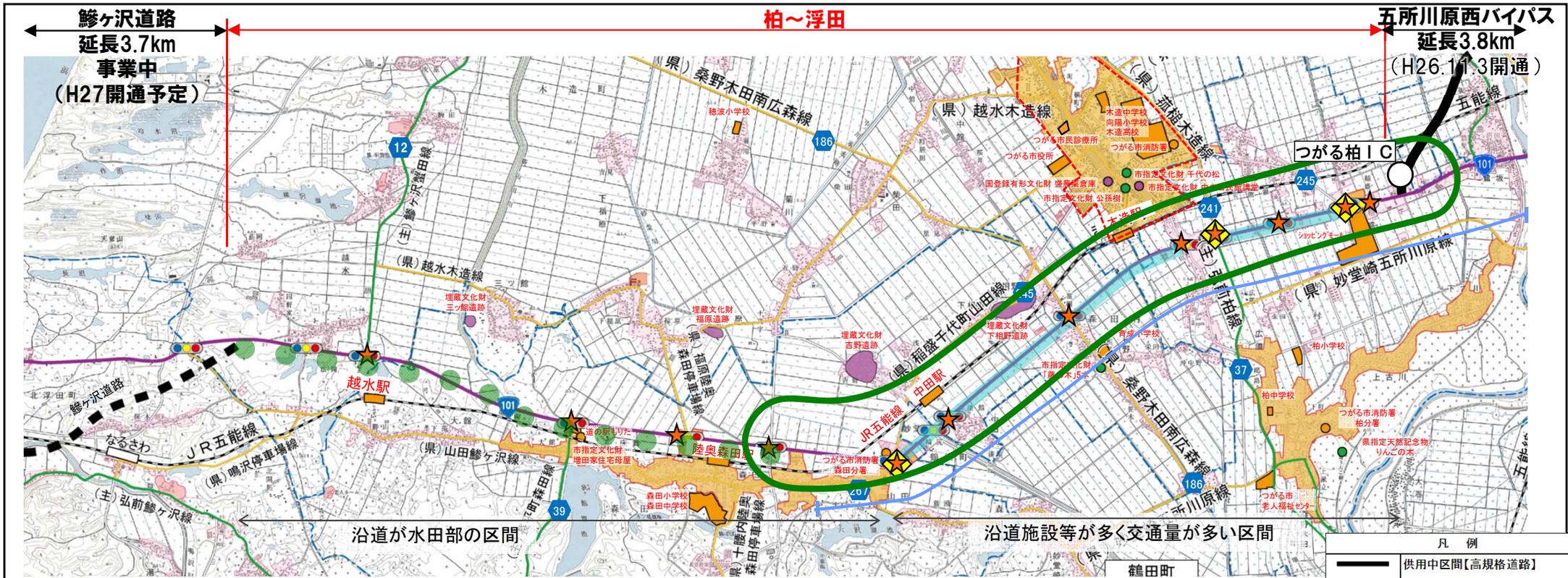
※上記はあくまで整備イメージであり、確定したものではないため、今後具体的な構造・形状について検討

凡例	
	供用中区間【高規格道路】
	事業中区間【高規格道路】
	一般国道
	主要地方道
	一般県道
	案① 全線新設案
	主要渋滞箇所
	事故の発生割合が高い箇所
	狭隘区間(幅員7m以下)
	岩木川の氾濫による想定浸水区域

■ポイント

- | | |
|----|--|
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> 全線で新たな自動車専用道路を整備し、現道課題や地域課題の解決を目指す 盛土を主体とした道路構造 |
|----|--|

◆一部で新たな自動車専用道路を整備するとともに、一部現道を改良する案



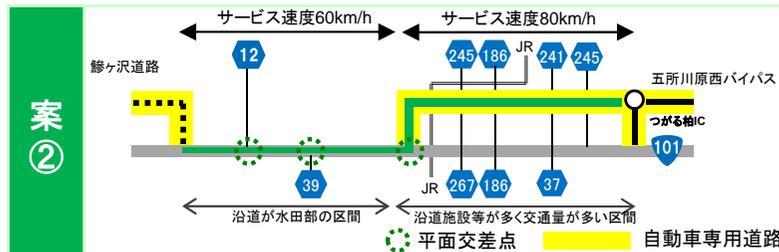
整備概要

延長	約13km
構造	サービス速度60~80km/h (自動車専用道路+一般道路)
コスト	約300~350億円

ポイント

- 沿道施設や出入り箇所が多く交通量が多い区間は新たな自動車専用道路を整備、沿道が水田部の区間は現道を改良して、現道課題や地域課題の解決を目指す
- 全線で盛土を主体とした道路構造だが、現道改良区間は主要な道路との交差点は平面交差点構造

整備イメージ



※上記はあくまで整備イメージであり、確定したものではありません。今後具体的な構造・形状について検討

凡例	
	供用中区間【高規格道路】
	事業中区間【高規格道路】
	一般国道
	主要地方道
	一般県道
	案② 現道改良案(新設整備区間)
	案② 現道改良案(現道改良区間)
	主要渋滞箇所
	事故の発生割合が高い箇所
	狭隘区間(幅員7m以下)
	岩木川の氾濫による想定浸水区域

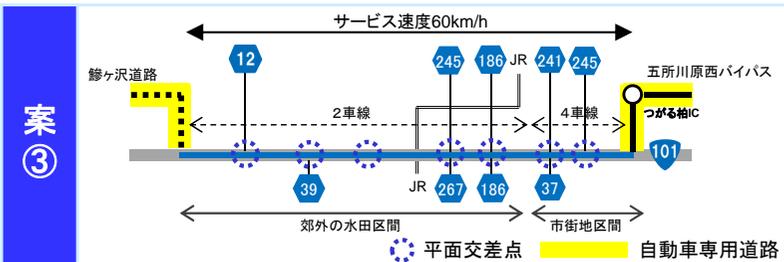
◆ 現道を改良する案



■ 整備概要

延長	約13km
構造	サービス速度60km/h (一般道路)
コスト	約250~300億円

■ 整備イメージ



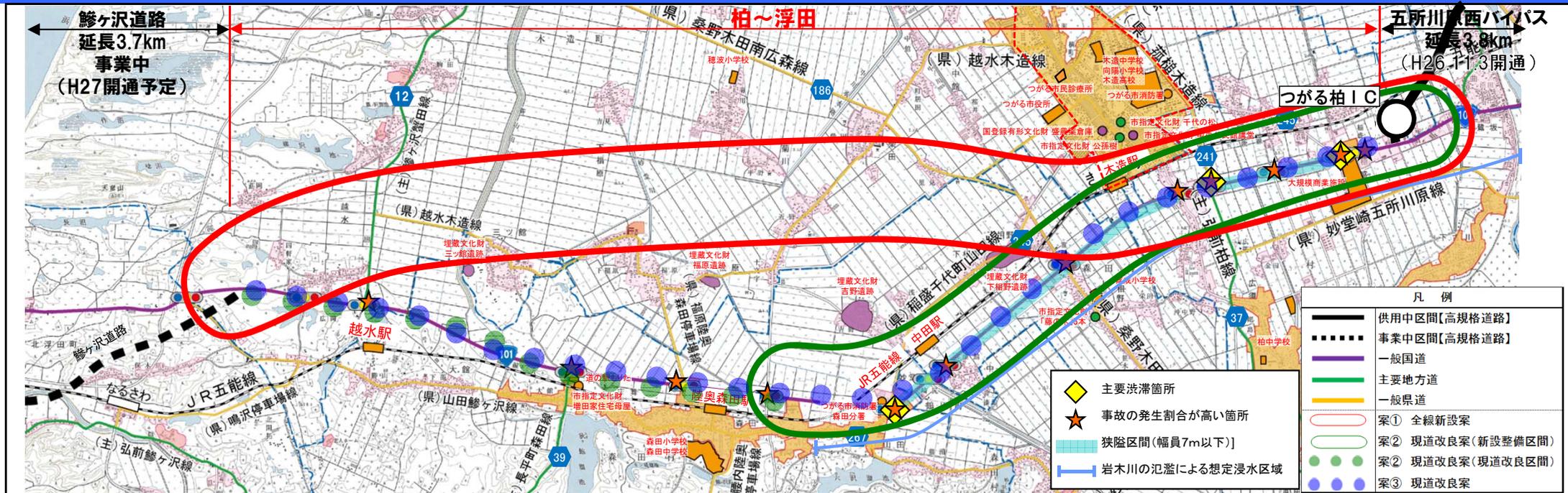
※上記はあくまで整備イメージであり、確定したものではないため、今後具体的な構造・形状について検討

凡例	
	供用中区間【高規格道路】
	事業中区間【高規格道路】
	一般国道
	主要地方道
	一般県道
	案③ 現道改良案
	主要渋滞箇所
	事故の発生割合が高い箇所
	狭隘区間(幅員7m以下)
	岩木川の氾濫による想定浸水区域

■ ポイント

内容	・ 現道を改良し、現道課題や地域課題の解決を目指す
	・ 沿道に人家や商業施設が連続し、交通量が多い市街地区間は道路幅員の拡幅等を実施
	・ 沿道が水田部の区間は盛土を主体とした道路構造で、主要な道路との交差点は平面交差点構造

3-4. ルート帯案の比較



評価項目		自動車専用道路 (サービス速度80km/h)		一般道路 (サービス速度60km/h)	
項目	指標	【案①】全線新設案 (約12km)	【案②】新設+現道改良案 (約13km)	【案③】全線現道改良案 (約13km)	
政策目標	医療施設への速達性向上	高次医療施設への速達性 救急搬送時の定時性	・自動車専用道路のため、速達性と定時性の向上が大きく見込まれる	・自動車専用道路区間と一般道路区間が混在するものの、速達性と定時性の向上が見込まれる	・一般道路であるため、速達性と定時性の向上はそれほど見込めない
	冬期交通環境の改善	堆雪による速度低下 地吹雪等による視程障害	・必要な堆雪幅を確保した道路整備のため、速度低下は大きく改善 ・盛土を主体とした全線新設整備のため、視程障害は大きく改善	・必要な堆雪幅を確保した道路整備のため、速度低下は改善 ・現道改良区間は道路法線が現況と同じため、視程障害の改善がそれほど見込めない	・必要な堆雪幅を確保した道路整備のため、速度低下は改善 ・低盛土区間と道路法線が現況と同じ区間の混在であるため、視程障害の改善がそれほど見込めない
	地域振興の支援	拠点間の連絡性	・自動車専用道路のため時間短縮が大きく、拠点間の連絡性が大きく向上	・一般道路区間があるため、時間短縮がそれほどおおきくなく、拠点間の連絡性がそれほど向上しない	・一般道路のため時間短縮が小さく、拠点間の連絡性が向上しない
	信頼性の高い道路ネットワークの確保	緊急輸送道路の確保	・現道の通行止め時に代替路として機能するため、緊急輸送道路としての信頼性が大きく向上	・現道改良区間は通行止め時に代替路がないため、緊急輸送路としての信頼性がそれほど向上しない	・通行止め時に代替路が無く、岩木川氾濫想定浸水区域が残るため緊急輸送路としての信頼性が向上しない
	安全な走行空間の確保	出入り交通との錯綜 交差点での事故	・新設道路に適正に交通転換されるため、錯綜や事故が大きく軽減	・新設区間は交通が転換され、現道改良区間は沿道出入箇所等が減少するため、錯綜や事故が軽減	・沿道出入箇所等が若干減少するが、錯綜や事故はそれほど軽減しない
道路整備による影響	生活環境	沿道家屋等への影響	・集落等を極力回避するため、影響は小さい	・集落等を一部通過するため影響がある	・沿線の集落等を拡幅により改良するため、影響が特に大きい
	自然環境	自然環境の改変	・田園地帯を通過するため、改変がある	・一部田園地帯を通過するため、改変がある	・現道の国道を改良するため、改変は小さい
	早期効果の発現	効果発現の時期	・部分的な効果発現が困難	・現在の国道を改良する区間があるため、開通したところから効果発現が見込まれる	・現在の国道を改良するため、開通したところから効果発現が見込まれる
	工事の影響	現道交通への影響	・現道での規制が少ないため、影響はほとんどない	・一部区間で現道の改良に伴い規制が発生するため、影響がある	・現道の改良に伴い規制が発生するため、影響が大きい
	コスト	整備に関する費用	約330~380億円	約300~350億円	約250~300億円

4. 今後の計画段階評価手続きの進め方

4. 今後の計画段階評価手続きの進め方（案）

◆計画段階評価手続きの進め方は以下のとおり

(今回)

【平成26年10月16日
～11月10日】

【平成27年8月5日】

【平成26年8月29日】

**第1回
東北地方
小委員会**

- 地域や道路交通の現状・課題
- 政策目標の設定
- 計画段階評価手続きの進め方
- 意見聴取方法

**意見聴取
(第1回)**

- 地域、道路の課題
- 政策目標
- 道路整備の必要性
- 意見聴取方法《アンケート》
対象：道路利用者
地域住民
- 《ヒアリング》
対象：企業 等

**第2回
東北地方
小委員会**

- 意見聴取結果の確認
- 対策方針（案）の考え方
- 対策方針（ルート帯案）の検討
- 意見聴取方法

**意見聴取
(第2回)**

- 対策案選定時に重視する項目
- 意見聴取方法《アンケート》
対象：道路利用者
地域住民
企業
- 《ヒアリング》
対象：企業 等

**第3回
東北地方
小委員会**

- 意見聴取結果の確認
- 対応方針案について

対応方針の決定

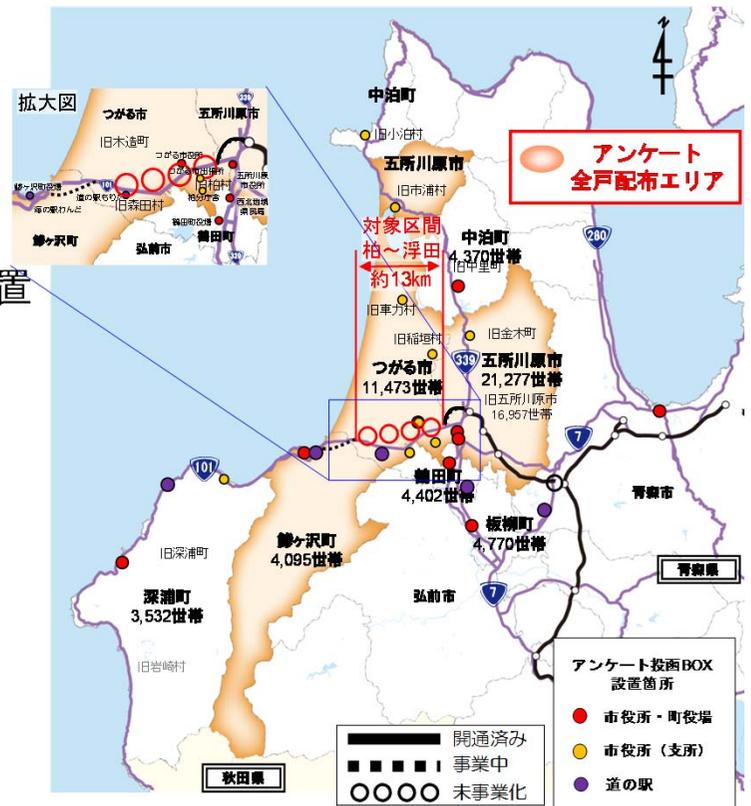
地方小委員会

5. 第2回意見聴取（案）について

5-1. 第2回意見聴取（案）の概要

○意見聴取の概要

- 周知方法 : 記者発表、ポスター掲示、新聞広告、HPへのバナー貼り付け、市町村広報誌
- 配布方法 : ① 対象地域は全戸配布
 ② ①以外は、役場や道の駅等へのアンケート用紙の設置
 ③ HP上でのWEBアンケート
- 回収方法 : ① 郵便ポスト
 ② 役場や道の駅等への投函ボックスの設置
 ③ HP上での回答
- 期間 : 概ね3週間
 対象 : 下表のとおり



○意見聴取の方法と対象者

対象者・実施方法					
ヒアリング	【企業及び関係団体】			インタビュー形式でのヒアリング調査	
	企業	地元企業、物流・観光事業者など			
	関係団体	商工会議所、トラック協会、JA、救急医療機関、観光協会など			
アンケート	【地域住民及び道路利用者】			郵送による全戸配布 (約40,500世帯)	
	地域住民	五所川原市(約24,200世帯)、つがる市(約12,000世帯) 鱈ヶ沢町 (約 4,300世帯)			
	道路利用者	周辺市町村役場(中泊町、鶴田町、板柳町、深浦町)及び道の駅(もりた、なみおか、つるた、ふかうら)、海の駅わんど			市町村役場及び道の駅等への常設
		道路利用者			Web(HP)掲載による実施

5-2. 意見聴取の項目と活用方針

○アンケート調査項目と活用方針

質問項目	アンケート結果の活用	備考
道路交通及び地域の課題	国道101号、地域の現状について回答者の認識を確認し、回答者の考える課題を把握する	第1回
地域に求められる道路の機能	対象地域が求める道路の機能を確認し、政策目標の決定への配慮事項とする	
比較ルート帯案 (複数案)に対する意見	道路整備において、地域にとって望ましい案を選ぶ際に重視する項目について把握する また、詳細なルート検討を行う上での配慮事項を確認し、今後の詳細検討へ活用する	第2回
接続位置に対する意見	接続位置に対する意見を把握し、最終的に決定するルート帯に反映する	
回答者の属性、 利用状況	回答結果の差異に対して各分類で整理し、分析する	共通
その他自由意見	その他、対象区間に関する意見を幅広く聴取し、計画策定の参考とする	

○アンケート案

①調査概要

⇒本調査の趣旨・調査対象箇所の提示・今後の手続きの流れ
(案)

津軽自動車道(柏～浮田)の 計画検討に関するアンケート(第2回)

津軽自動車道は、東北縦貫自動車道の浪岡ICから五所川原市を通過し、日本海沿岸地域までを結ぶ計画延長約38kmの高規格幹線道路です。

第2回意見聴取(今回)では、対策案(ルート帯案)を検討していく上での留意事項(重視すべき項目)についてご意見をおききたく、ご協力をお願いします。

なお、本調査で頂いた皆様からのご意見は、計画段階評価において地域からの意見として「社会資本整備審議会 道路分科会 東北地方小委員会」に報告いたします。

※「計画段階評価」とは、地域の課題や達成すべき目標、地域の意見等を踏まえ、複数案の比較・評価を行うとともに、事業の必要性及び事業内容の妥当性を検証するものです。

計画段階評価の流れ

東北地方小委員会 → 意見聴取 → 東北地方小委員会 → 意見聴取 → 東北地方小委員会 → 新規採択時評価 → 事業化

●アンケートに関するお問い合わせ
青森河川国道事務所 調査第二課
TEL:017-734-4570 FAX:017-722-2384

●インターネットによる回答も可能です。
URL
http://www.thr.mlit.go.jp/aomori/road/tuqaru/kaswari_ukita/index.html
青森河川国道事務所、青森県のほか、西北地域の各市町村ホームページのバナーからもご利用いただけます。

津軽自動車道(柏～浮田)ご意見募集
(〇月〇日まで)

●計画段階評価の詳しい情報や東北地方小委員会の資料等は国土交通省東北地方整備局ホームページをご覧ください。
URL <http://www.thr.mlit.go.jp/road/tr/shouinkai/index.html>

国土交通省 東北地方整備局青森河川国道事務所
青森県 五所川原市 つがる市 錦ヶ沢町

②第1回アンケート結果の報告

⇒ 第1回意見聴取結果概要について
(案)

第1回意見聴取結果の結果

国道101号の利用頻度

利用したことがない	115	1%
ほとんど利用しない	1,218	14%
月に数回程度	2,643	30%
週に数回程度	2,320	26%
毎日	2,457	28%
無回答	48	1%

回答者数 N=8,801

国道101号の利用目的

家事・買い物	4,637	(53%)
観光・レジャー	3,209	(36%)
通勤・通学	2,066	(23%)
業務(営業・運送等)	1,714	(19%)
通院	1,186	(13%)
その他	756	(9%)

回答者数 N=8,801
総意見数 N=13,568
※()は、回答者数に対する割合

国道101号の課題の把握

積雪や吹雪などで冬の走行性が悪い	5,798	(68%)
目的地までの時間がかかる(冬期には速度が低下)	4,220	(49%)
信号交差点や沿道からの出入り箇所が多い	2,340	(27%)
道路の幅が狭く走りにくい	1,997	(23%)
農耕車や歩行者、軽車両(自転車等)との混在が危険	1,729	(20%)
交通事故のリスクが高い	1,487	(17%)
通行止め時に長時間の足止めなどとなる	990	(12%)
その他	840	(10%)

回答者数 N=8,526
総意見数 N=19,401
※()は、回答者数に対する割合

当該地域の道路に求める機能の把握

冬期の影響を受けにくいこと	6,492	(75%)
交通事故が少なく安全に走行できること	4,393	(51%)
通行止めになった時でも代替路を確保できること	2,854	(33%)
自然災害や交通事故で通行止めになりにくいこと	2,737	(32%)
救急病院に早く行けること	2,602	(30%)
最短時間で結ぶ物流経路を確保できること	1,995	(23%)
観光交流を促進すること	1,573	(18%)
その他	474	(6%)

回答者数 N=8,604
総意見数 N=23,120
※()は、回答者数に対する割合

○アンケート案

③政策目標に対応する複数対策案の提示

⇒ 各ルート帯の立案趣旨や概要
(案)

⇒ 各案の特徴
(案)

【案①】全線新設案

延長 約1.2km 構造 サービス速度80km/h(自動車専用道路) 費用 約330~380億円



【案②】新設+現道改良案

延長 約1.3km 構造 サービス速度60~80km/h(自動車専用道路+一般道路) 費用 約300~350億円



【案③】全線現道改良案

延長 約1.3km 構造 サービス速度60km/h(一般道路) 費用 約250~300億円



評価項目		自動車専用道路(サービス速度80km/h)	一般道路(サービス速度60km/h)		
項目	指標	【案①】全線新設案(約12km)	【案②】新設+現道改良案(約13km)	【案③】全線現道改良案(約13km)	
政策目標	医療施設への速達性向上	高次医療施設への速達性と定時性の向上が大きく見込まれる	自動車専用道路区間と一般道路区間が混在するものの、速達性と定時性の向上が見込まれる	一般道路であるため、速達性と定時性の向上はそれほど見込めない	
	冬期交通環境の改善	堆雪による速度低下、地吹雪等による視程障害	必要な堆雪幅を確保した道路整備のため、速度低下は大きく改善 ・盛土を主体とした全線新設整備のため、視程障害は大きく改善	必要な堆雪幅を確保した道路整備のため、速度低下は改善 ・現道改良区間は道路法線が現況と同じため、視程障害の改善がそれほど見込めない	
	地域振興の支援	拠点間の連絡性	自動車専用道路のため時間短縮が大きく、拠点間の連絡性が大きく向上	一般道路区間があるため、時間短縮がそれほど大きくなく、拠点間の連絡性がそれほど向上しない	一般道路のため時間短縮が小さく、拠点間の連絡性が向上しない
	信頼性の高い道路ネットワークの確保	緊急輸送道路の確保	現道の通行止め時に代替路として機能するため、緊急輸送道路としての信頼性が大きく向上	現道改良区間は通行止め時に代替路がないため、緊急輸送路としての信頼性がそれほど向上しない	通行止め時に代替路が無く、岩木川氾濫想定浸水区域が残るため緊急輸送路としての信頼性が向上しない
	安全な走行空間の確保	出入り交通との錯綜交差点での事故	新設道路に適正に交通転換されるため、錯綜や事故が大きく軽減	新設区間は交通が転換され、現道改良区間は沿道出入箇所等が減少するため、錯綜や事故が軽減	沿道出入箇所等が若干減少するが、錯綜や事故はそれほど軽減しない
道路整備に関する影響	生活環境	沿道家屋等への影響	集落等を極力回避するため、影響は小さい	集落等の一部を通過するため影響がある	沿線の集落等を拡幅により改良するため、影響が特に大きい
	自然環境	自然環境の改変	田園地帯を通過するため、改変がある	一部田園地帯を通過するため、改変がある	現道の国道を改良するため、改変は小さい
	早期効果の発現	効果発現の時期	部分的な効果発現が困難	現在の国道を改良する区間があるため、開通したところから効果発現が見込まれる	現在の国道を改良するため、開通したところから効果発現が見込まれる
	工事の影響	現道交通への影響	現道での規制が少ないため、影響はほとんどない	一部区間で現道の改良に伴い規制が発生するため、影響がある	現道の改良に伴い規制が発生するため、影響が大きい
コスト	整備に関する費用	約330~380億円	約300~350億円	約250~300億円	

